



USO JAPANより表彰



9月8日(土)、港区ニュー山王ホテルにおいて、東京地方協力本部広報官中瀬さつき2等海曹が、米軍慈善団体USO JAPANから表彰を受けた。中瀬2曹は航空電子整備海曹として厚木基地において勤務していた際、平成23年米軍派遣訓練、平成29年日米間部隊研修及び交流行事に参加、共同作業やチーム討論において日米整備員の相互理解に貢献した他、親睦イベント・清掃活動に積極的に参加して、米海軍との友好関係構築に寄与した功績が認められ、今回の受賞となった。

表彰式は、自衛隊から各幕総務部長、各自衛隊先任伍長等、米軍から在日米軍司令部最先任上級曹長立会のもと厳粛かつ華やかに行われ、陸海空自衛隊・米4軍の中から選出された隊員等は互いに、喜びを分かち合った。表彰を受け、中瀬2曹は「この度の受賞は、これまでご指導いただいた上司・同僚・仲間や友人の温かいご指導と励ましのおかげです。心から感謝いたします。」と嬉しそうに語った。

「校庭キャンプ」を支援し広報活動を実施



東京地本江東出張所(所長3等海佐 鴨川 康一)は9月22日(土)、東京都江東区立第六砂町小学校で実施された「校庭キャンプ」を支援した。

当該事業は、「学校が明るく楽しい場所」であることを知ってもらうため加瀬幸司校長が企画された事業であり、毎年約100名の児童が参加しており、東京地本は募集相談員江東支部長である小嶋映治氏からの協力依頼を受け、昨年から参加している。

このイベントは、小学校の校庭で土曜日から日曜日まで1泊2日の行程で行われ、テントの設営や撤収、夕食と朝食の準備など、普段はほとんど保護者任せにしている事を参加児童自らが実施したが、参加した子供たちは、協力し合いながら積極的に各行動に取り組んでいた。

江東出張所は参加者に自衛隊の活動を紹介するとともに、73式小型トラックの展示、国際平和協力活動等で使用した被服やミニ制服の試着、キャンプや日常生活に活用できるロープワークの体験により本イベントを支援した。

参加した児童からは「制服を着られて良かった。」「ロープワークがとても楽しかった。」などの声が聞かれ、参加した児童の保護者からは「亀戸に募集事務所があると聞いて、とても親近感が沸きました。」「本物の自衛隊車両や自衛官と接することができてうれしい。」などの声が多く聞かれた。

江東出張所では、引き続き、自衛隊の周知に努め、より身近に感じてもらえるよう広報活動を実施して行くとしている。

葛飾区の御当地ヒーロー達とともに自衛隊広報



東京地本新小岩募集案内所(所長 山本2等陸尉)は9月24日(月)、葛飾区に所在する京成ドライビングスクールが主催するオートラムフェスタ2018において、第1普通科連隊第3中隊の支援を受けて自衛隊の広報活動を実施した。

当該イベントでは当自動車教習所のほか、警視庁や消防署が保有する車両展示や様々なイベントが行われ、会場には多数の来場者が訪れた。

自衛隊の広報ブースでは、迷彩服等の試着コーナー、軽装甲機動車及び偵察用バイクに跨っての写真撮影コーナー及びブルーインパルスコックピットの映像を360度体感できる3DVRゴーグル体験コーナーが設置され、多くの家族連れで賑わった。

その中には、担当広報官に熱心に質問する方やVRに関心をもつ方等、普段接する機会の少ない自衛隊とのイベントを満喫している様子であった。また、このイベントに参加していた地元葛飾区の御当地ヒーロー「仮面の守護者ゼロング」も一緒に広報ブースを盛り上げた。

参加した家族連れなどから「将来、子供が自衛官になれるかわかりませんが貴重な経験になりました。ありがとうございます。」「災害派遣活動お疲れ様です。頑張ってください」等の言葉をいただいた。

東京地本新小岩募集案内所では、今後も地域に密着した広報活動を実施するとともに、関係部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げたいとしている。